



- ▶開館時間：9：00～17：00
- ▶休館日：毎週月曜日(ただし、祝日は開館し翌日休館)
- ▶電話番号：893-0886
- ▶入館料：大人 500円 / 小中高生 100円
65歳以上 250円(要年齢証明)
- *販売コーナーは、入場無料です。
- *購入日から1年間、何度でも入場できるお得な年間観覧券(1,500円)販売中!



◆大野洋平個展 サイレント～静寂の中の光へ～ 9月8日(土)～9月24日(月)

いこの町在住の画家、大野洋平氏の個展です。水彩画約30点、マンガ約5点などを展示します。

◆川村愛個展River Waltz 9月8日(土)～9月30日(日)

いこの町在住の美術作家、川村愛氏の個展です。人と人の繋がりをテーマに描かれた瑞々しく色鮮やかな作品を展示します。

◆竹山美紀個展 わしとわたし 9月15日(土)～9月24日(月)

いこの町鹿敷で約3か月間の滞在制作に取り組んだ竹山美紀氏初の個展。

半立体作品や染め和紙、切り絵、グッズなどを展示します。

土佐紙業界の恩人・吉井源太を知る



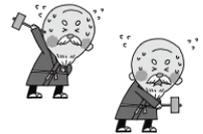
吉井源太は文政9年(1826年)に伊野で生まれ、明治の終わりに亡くなるまで、製紙家として活躍し、日本紙業界の発展に全生涯を捧げ様々な功績を残しています。

ここでは、10月6日から始まる企画展開催に向けて、彼の功績を紹介します。

源太さん5つの大仕事!

その④「日本製紙論」を出版しました

源太は、明治31年に周囲に勧められて口述し、出版したのが「日本製紙論」です。内容は紙の原料について、そして紙をすく工程や道具、重要な37種類の紙の説明などが書かれています。明治時代に作られた多くの紙の製造方法が詳しくわかる初めての本で、紙作りに関わる人たちにとってたいへん貴重な内容でした。



吉井源太没後110年 記念企画展

「紙の交流・源太と日本の和紙産地ー明治から始まった絆を、新たに結ぶー」

10月6日(土)～11月11日(日)

<基調講演・紙の交流フォーラムを開催!>

明治時代に吉井源太らが紙すきの技術・道具や原料調整などについて伝習した紙産地(出雲和紙(島根県)伊予和紙(愛媛県)因州和紙(鳥取県)小国和紙(新潟県)美濃和紙(岐阜県))から現在ご活躍中の皆様をお招きし、源太のふるさと「紙のまち いこの町」で紙の交流フォーラムを開催します。

明治時代に交流した軌跡を振り返るとともに、現在、各産地が抱えるさまざまな課題や取り組みを話し合い、これからのむけてのビジョンを掲げ、新たな交流を結ぶフォーラムです。

「紙のまち交流フォーラムINO 2018」

■日時/場所 10月20日(土) 13:30~/いこの町役場本庁舎 1階いのホール

どなたでもご参加いただけます。詳しくは紙の博物館ホームページ (<http://kamihaku.com/>) をご覧ください。

ギャラリー・コパ

▶電話番号：893-1200

▶開館時間：9：00～17：00

◇ぶーふえす Vol.3 夏の陣「ユミ・ツェワンの仏画、曼陀羅の世界」 8月29日(水)～9月2日(日)

チベットの芸術に関心を持っていただこうと、ユミ・ツェワンさんに熊本よりお越しいただきチベット仏画・曼陀羅を展示。雑貨販売・仏画ワークショップ・占いも実施します。

◇浪漫堂 秋の創作和布展 9月5日(水)～9月9日(日)

和布の洋服、小物、アクセサリ、和雑貨、手づくり材料、古布、きもの、ハギレなど約300点を展示販売します。

◇初秋の山野草展 9月13日(木)～9月20日(木)

秋の山野草、カンアオイ、野生蘭、シダなど合計150鉢を展示します。

◇古布・着物リメイク服展 9月22日(土)～9月30日(日)

高知市、井本さんご夫婦の展示会。古布、着物で作った、世界に一つしかないリメイク洋服に、バッグ、焼物、油画など、約250点を展示販売します。